

昭和六十三年十二月 同園退職

抑留記

岐阜県 木村 誠 二

生年月日 大正十二(一九二三)年四月二十八日

本籍 岐阜県恵那市長島町永田

軍歴

昭和十九(一九四四)年一月十日 電信一八連

隊入営

〃 一月十五日 八幡港出帆

〃 一月十九日 龍江省上爾池哈着

〃 〃 電信一八連隊(満州七

五八八部隊)

昭和二十四年七月四日 除隊

抑留歴

昭和二十年八月二十三日 哈爾浜において武装

解除

〃 八月二十八日 海林作業大隊に編入

〃 十月十日 海林出発

〃 十月十八日 ソ連シベリア

昭和二十四年六月三十日 ナホトカ港出帆

〃 七月三日 舞鶴港上陸

〃 七月四日 復員

抑留中は衛生兵としての経験を生かして病院勤務を命ぜられた。医薬品は満州より持つて行ったので何とか必要最少限度であった。日本の軍医が同所におられたため、治療はスムーズに行われた。

ノルマは厳しく、決して脱落者を出すなという命令であった。

それでも作業は大変で犠牲者は出た。そのときは裸で外に放り出し、日本では考えられないことが行われた。

職歴

昭和二十四年十月一日 長島町役場職員に採用

昭和二十七年十二月二十七日 岐阜県職員に採

用

昭和五十七年三月三十一日 岐阜県職員を退職

何とか元気なうちに現地へ訪れて犠牲者の冥福を祈りたいと念願しているが、今もその務めは果たせず残念でならない。申し訳ない気持ちでいっぱいであります。

抑留記

岐阜県 安田英夫

生年月日 大正十四（一九二五）年二月六日

本籍 岐阜県恵那市長島町永田

本籍地で生まれ長島小学校卒業

家業（農業）

軍歴

昭和十九（一九四四）年徴兵検査。二十年二月、中部五九部隊（和歌山県加太）入隊。三日目に軍服新品（冬服）を着せられ地下足袋姿にて九

州の博多より釜山へ。途中にアメリカの潜水艦がいるらしいと、エンジンを止めて何分か海の上に乗浮かんで危険が去るまでそのまま待たようになっています。

満州へ入り、どんどん北へ行き、北満の孫呉というところへ着き、軍隊生活が始まりました。

我々が二月に孫呉へ入隊した当時は南方へ主力部隊が出動した後で、南方では馬は必要ないため部隊は馬ばかりで、中隊ではわずかの兵士でした。我々が二月に入隊、五月に在満の召集兵と韓国の現役兵が入隊して、兵器を受け取って部隊を編成して一五二〇五部隊となり、部隊は陣地を作るために荒神山（部隊がつけた）へ。部隊には勤務兵（炊事、馬の管理、歩哨など）少数が残り、俺も歩哨下番、うまやの連続であったが、たまたま寝わらの受取りに出かけていると飛行機が飛んで来た。聞き慣れない音である。空を見上げると日本の日の丸がない飛行機である。すると週番士官が、敵機飛来、すぐ中隊へ戻れと言われ、戻る